

アカデミックアドバイジング

CAS 基準とガイドライン

ACADEMIC ADVISING CAS STANDARDS and GUIDELINES

Part1. ミッション

アカデミックアドバイジングプログラム (AAP) は、そのミッションの中に、学生の学習と成長 (student learning and develop) を組み入れなければならない。AAP は、そのミッションとゴールを、記録し、広め、履行し、定期的に再検討しなければならない。ミッションの記述は、その機関 (institution) のミッションと目標に、また、この文書の基準に一致したものとなっていないなければならない。

AAP のもっとも主要な目的は、人生の目標と両立できるような、有意義な教育計画を発展させることである。よって、学生を支援することである。

機関は、プログラムの目標と、アドバイザとアドバイジークの両者の期待を含まない。アドバイジングに付随する哲学を、明確に記述しなければならない。プログラムは、その機関のすべからず、その使命の不可欠な部分として機能しなければならない。

教育計画と、人生の目標についての意志決定に対する究極の責任は、それぞれの学生にかかっている。アドバイザーは、(学生が) 決定の選択肢とその結果を見極め、評価することを手助け、支援すべきである。

アカデミックアドバイジングに対する機関のゴールは、以下のものを含むべきである。

- ・適切な教育計画を発展させる
- ・キャリアと人生の目標の明確化
- ・適切なコースの選択と他の教育経験の選択
- ・制度が要求していることを解釈すること
- ・学生が利用できる教育上の資源について、それを知ってもらうこと

とを促進する (例えば、インターシッップ、留学、賞、学生支援プログラムなど)

- ・立てられた目標に向かって、学生がどれだけ進歩しているかの評価
- ・意志決定のスキルの発達
- ・学生のセルフディレクションの強化
- ・制度上またはコミュニティ支援サービスへの、リファーマと活用
- ・制度的決定と方策を行う上で利用するために、学生のニーズ、パフォーマンスに関するデータを収集し分類する

Part2. プログラム

学生の正課教育 (formal education) は、目的が明確で、ホリスティックで、またカリキュラムとコ・カリキュラムから成っている。アカデミック・アドバイジング・プログラム (AAP) は、適切で望ましい学生の学習と発達の成果を、はつきりさせ、これらの成果の達成を支援するプログラムやサービスを提提供しなければならない。適切で望ましい成果とは、以下のようなものを含んでいる：知的成長、効果的コミュニケーション、現実的自己評価、自己尊重が高い、価値をはつきりさせる、キャリア選択、リーダーシップの発達、健康的行動、有意義な対人関係、自立心、協調、社会的責任、性満足、生産的ライフスタイル、多様な個性を認め、スピリチュアルな気達成。

AAP は、教育的または個人的問題に圧倒されたり、スキル不足に悩む学生を支援しなければならない。プログラムは、学生の学習と発達の成果の達成へ強い影響をあたえなければならない。

プログラムとサービスは、より密

口を使う
フを例
を例
標な
指う
のよ
他の
るす
あ定
が同
連は
関た
にま
接一

学生の学習と発達の成果の領域

現シたや複；い術、エ
表・し験、るし美シ
にル定経らと新、リ
確力決的かを、学、プ
明イを人源位を文ア
をテか個資学念；て
標リ何、な；概るし
目ク；にまるやす対る
的にるめざす報用にする
例育決いたま用情適学現
の教解用すさ活たに科表
標・題を出むをし境を
長指的問題を情報解環社
成の人の見を情理や、ヨ
的成個のキ意察な前況学シ
知達すニリ観雜以状科一

書話者象
ににや他抽すゼフ
い後とて；現レパ
書たこしる表プは
にえく通きに；た
的考書をで確うま
率く；現が明か、
効よる表とにつる
ンつ；す術的的をきる
シ例かるり芸る率法でき
一のしすたたえ効文がで
ケ標貫りしま与をなシ
ニ指一た話、を念切ヨス
ユの尾しりと響概適シ
ミ成首話たこ影な；一マ
コ達りいすに的るテ一

目合ブ安
；；イに能
するテ的機
示め一統も
をじサ継て
重はアらく
尊を；かな
の動う者い
へ行負他て
上例者てを；れ
向の他しくす
の標や対ス示え
情指心にりを与
感の尊成な動が
尊成自達的行感る
自達標理な心す

決さ明ド学
表た弱にいら
にしや的イか
確致さ論フ験
明一強理の経
をとのをらの
力観分扱か去
能値自根者過
価や能；の他；
評例のキ人と自るめ
己の標ス個を；す求
自標の；動る現を
な指の；分る行め表ク
的の分る行め表ク
実成自すや認めバツ
現達現定を確バツ

す決検のう
動志を分なよ解
す行意観自的の理
現てた値；人どを
表しし価す個がの
に致映や示のら
確一反念をルれる
明とを信志イそす
を観観の意タ、響
例観値値分るすめ影
観の値価自すつに
値標の；義イみ定
価指の分る定ラを決
なの分自す再や観志
確成自；；をし事値意
明達るる定討仕価に

判ベユ經 室 連 っ 理 た
を述ミアル教 関てと確てま踏
力にコイキ；けにいに明い、を
能確、テスるづれつ分をつり順
、明験ンや作連そに自徴にた手
ルを経ラ知識を関と果；特界める
キ択たボ知類を的成るの世始す
ス選い、た書び目やき境のをり
、ア働スれの学のルで環事索た
例観リやビさての事キ成業仕探し
択の値ヤ育一出いで仕ス構職；業探
選標価キ教サきつ外なやをいる職を
ア指や、課一導に室確知識書しす；先
リの味で正イら果教明知歴ま現る学
ヤ成興し；テか成と；た履好表す進
すキ達断るニ験や内るしのでに解はむ

組 ミ民的
イ生シナて目た
タ学ジイしのか
ス；ポダとプ
やるのの一一え
学すプダルみ
の表現ツ一グに
スキのシルリ；目す
ス プに一グ；すを示
プ例ッ確ダ；る示果を
ッのシ明一るすを結力
シ標一てりめ解念い能
一指ダいで努理理しる
ダの一分中ををなます
一成りにのンス的好に
リ達ル織ヨク主やち

行ス、進
すネす促
らル現を
減工表一
をウにイ
クと確テ
ス康明ニ
リ健をユ
、；係ミ
例しづ関コす
動の進選のな示
行標促を標的を
な指を境目康動
的の康環の健行
健康成健や生；る
健達動一るす

あき、わ
すのきか
持値聞か
維価をか
、で解し
きの見重
築互の尊
を相者を
係と他者
関例関係；他
人の人同く；
対標対や築る
な指な人をえ
義の足友係考
有成満；関く
有達るるよる

機とビ管
にこ一に
的るパ的
律す一果
自能ス効
；機ばを
すにら間
示的あ時
を存と；
例動依要る
の行互必け
標頼相；う
指信；るを
の己るきンる
自立成自すでヨる
自達能がジ理

かフのの
のの
とら
者か
他者
；他
く；
働る
示的
にめ
例的
の力
の力を
標協
指と
の者
働成
協成
達他
かわ
イ

目標を達成するに貢献する；効果的なることを見せる

社会的責任の例として、管理シス、テ、ム、を、理解し、社会の規範を遵守し、法律を踏まえて行動し、倫理的に振舞うこと。

充実にあつたライフスタイル

達成度の高い学生は、健康的な生活を送り、学業と並行して様々な活動に参加し、自己成長を図っている。

多様性 (Diversity) の理解

多様な背景を持つ人々を尊重し、相互理解を深めること。多文化社会における協働の重要性を認識する。

スピリチュアルな気づき

スピリチュアルな気づきは、自己の内面とつながり、人生の目的を見出すことに役立つ。

個人的・教育的目標

個人の成長と教育の目標を明確にし、達成するための計画を立てる。継続的な学習と自己開発を促す。

AAPIは(a)計画的で、(b)首尾一貫して、(c)教授、学習、人間発達の理論に基づいており、(d)学生集団の発達の・人口統計学的

(demographic) 特性を反映して (e) 個人や特別のニーズが必要な学生やコミュニティのニーズを敏感に汲み取る必要がある。

AAPIは、学生のアカデミックな達成に悪影響を及ぼさないことを保証する。また、学生は、学問的興味をもち、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。

AAPIは、個別アカデミックアドバイザの適切な指導を必要とする。学生は、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。

AAPIは、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。また、学生は、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。

AAPIは、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。また、学生は、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。

AAPIは、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。また、学生は、学業に専念し、学業以外の活動にも積極的に参加し、自己成長を図っている。

AAPは、アカデミックアドバイザーに、最新の、正確なアドバイザーング情報を提供しない。コンピュート・プログラムのようないくつかのタイプのアドバイザーングシステムが使用されることもない。必要に応じて、適切な制度上の支援活動が紹介されるべきである。

Part3. リーダーシップが重要な役割を果たす。

リーダーシップとは、組織の方向性を定め、その実現を図る行為である。

リーダーシップの機能は、目標を設定し、それを実現するための資源を確保し、組織のメンバーを動員し、目標達成のために努力させることである。

リーダーシップの種類には、独断的リーダーシップ、独善的リーダーシップ、民主的リーダーシップ、変革的リーダーシップがある。

リーダーシップの効果は、組織の生産性の向上、組織の士気の高揚、組織の成長の促進などに現れる。

AAPのリーダーは、以下のようなことをしなければならない。

- ・ 組織に対してビジョンをはっきり表現する
- ・ 学生集団が出したニーズと特性に基づいたゴールと目標を定める
- ・ 学生の学習と発達を促進する
- ・ 倫理的行動を定め、実践する

- ・ 組織内のメンバーを募集し、選ぶ、スポンサーシップを管理する
- ・ 財政的資源を一元管理する
- ・ 人的資源を一元管理する
- ・ 人的事としての、プログラムの評価をする
- ・ 教育的、管理的プロセスに対する効果的にコミュニケーションする
- ・ 各個人と、合法的な関係機関、または職務上の関係機関と協働する関係を築く

AAPリーダーは、個人的、組織的、環境的な点において、目標達成を妨げる状況に対処するたため方法を定したり、発見しなければならない。

AAPリーダーは、学生のニーズの变化や機関の優先性に依拠して、プログラムやサービスを継続的に改訂しなければならない。

Part4. 組織とマネジメント

組織とは、共通の目的や目標を達成するために、人々の集まりであり、役割や責任を分担し、協働して活動することである。

組織の種類には、集権型組織、分権型組織、ネットワーク型組織などがある。

組織の機能は、目標の設定、資源の確保、情報の伝達、意思決定、評価などである。

組織の成功には、リーダーシップ、コミュニケーション、チームワークなどが重要である。

AAPは、管理方針と手続きを定期的に再審査するために、組織内にチャンネルを設けなければならない。

AAPの計画は、その機関の組織的構造およびその学生のニーズと、互換性をもたねばならない。特定のアドバイザーの責任は、アドバイザーの指導を受ける学生の両方に、はつき

は、機関における規定と一貫した、会計責任の範囲を定め、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うことと、その範囲を超えた場合には、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。また、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。

Part6. 財務
アカデミックアドバイジングプログラム(AAP)は、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。また、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。

は、機関における規定と一貫した、会計責任の範囲を定め、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うことと、その範囲を超えた場合には、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。また、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。

Part7. 施設、テクノロジー、設備
アカデミックアドバイジングプログラム(AAP)は、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。また、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。

AAPは、テクノロジーに支援されたアドバイジングが、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。また、その範囲内では、適切な承認やコンプライアンスの確保を行うこととする。

Part8. 法的責任
アカデミックアドバイジングプログラム(AAP)のスタッフ・メンバーは、各自の責任に関する法律および規則を熟知し、敏感でなければならぬ。スタッフ・メンバーは、関係者に対して、憲法上、法定上、取り締まり上、また判例法や、連邦、州政府の義務的および法的義務を、適切に理解しなければならない。

採用し、実行しなければならない。
AAPは、これらの要綱を出版し、適切な構成員によって定期的に再吟味することを保証しなければならない。
倫理基準や、その他の適切な専門職協会から要綱が考慮されるべきである。

AAPスタッフ・メンバーは、倫理的臨床実践に関する規定と、法の下の守られた、すべてのコミュニティケースーションと記録に関して、プライバシーと機密性の保持がしつかりと守られるべきであることを保証すべきである。学生の教育記録は、適切な法律および制度上の方針により適切な許可されたとき以外には、公開されない。CSスタッフ・メンバーは、個人または他者の安全性が脅かされる時、あるいは機関の方針、または適切な法律によって要求されるときは、適切な法律に基づいて要求されるときは、適切な情報関係当局に開示しなければならない。

すべてのAAPスタッフ・メンバーは、その機関における、人を被験者としてリサーチに関する規定に従うべきである。また、個人に対する研究の倫理的な進め方や研究データの機密守秘に関する規定についても遵守すべきである。

AAPスタッフ・メンバーは、彼らを取り扱っているすべての人に公正で、客観的で、公平なかかわりを保証するように努力しなければならない。

AAPスタッフ・メンバーは、学生やその他の人とのかかわりあいにおいて、利害関係者や利害の状況を認識し、個人的な葛藤を回避しなければならない。

スタッフ・メンバーは、人をおとしめたり、威圧したり、敵意を示したり、キャンパス環境を攻撃するといった、どのような形のハラステを容赦することにも参加してはならない。

機関の財源を扱う場合、すべてのAAPスタッフ・メンバーは、信頼できる会計手続きおよび機関の財政方針やプロセス（手順）に従って、財源が管理されることを保証しな

なければならない。

AAPスタッフ・メンバーは、トレーニング、専門知識および能力の範囲内で、自らの職務を果たさなければならない。自分の能力の範囲を越えてしまう場合、援助を必要とする個人は、より適切な資格をもった人により適切なリファールされなければならない。

AAPスタッフ・メンバーは、不道徳な振る舞いを示す他のスタッフ・メンバーに対して、対決したり、責任を問うために、適切な手段を使用しなければならない。

AAPスタッフ・メンバーは、テクノロジーの使用において、熟知し、倫理的行動を実践しなければならない。

Part13. アセスメントと評価

アカデミックアドバイザープログラム(AAP)は、定期的なアセスメントおよび評価をおこなわなければならない。AAPは、定められたミッション、ゴール、および学生の学習および発達の成果をどの程度満たしているかどうか決定するために、適切な有効な質的・量的な方法を論議を使用しなければならない。そのプロセスは、一貫性を保証するに十分な評価手段を使用しなければならない。集められたデータは、学生および他の関係者からの応答を含んでいなければならない。

プログラムは、ミッション、ゴール、および学生の学習および発達の成果をどの程度満たしているかどうか決定するために、定期的に評価しなければならない。

これらの評価の結果は、スタッフパフォーマンスを認識する際に、プログラムを改訂し改善するのに使用されなければならない。